

4月のコラム 新しいことを始める前に

4月になると、「何か新しいこと」にチャレンジしたくなります。
でも今年は、新しいことを始める前に、以前から気になっていたことに、もう一度手をつけてみることにしました。

それは、整理や片づけのような、ごく身近なことです。
例えば、社労士会や所属団体から届くたくさんの情報誌やメールニュース。
「後で読もう」と思い、傍らに置くのですが、いつの間にか何冊も積み重なって
います。
週末にまとめて読もう、この仕事が終わってから目を通そう。
そう考えるのですが、週末は週末の予定があり、仕事が終わってから勉強モード
に戻ることも難しく、実際にはなかなか手がつきません。
そうこうしているうちに時は過ぎ、気がつけば山積みになり、2年も前のものが
残っていることもあります。
読めば有益だと分かっているものばかりなので、手放すことには迷いが出ます。
とはいえ、このまま積み重ねていても、状況は変わりません。

そこで今回は、整理のやり方を変えてみることにしました。
まとめて整理するのではなく、まずは「上にあるものを二つだけ」。
毎日、お昼か仕事終わりに、その場で読むか、手放すかを決める。
読むものも、必要なページだけ残して本体は手放す。それだけに絞ってみるこ
とにしました。全部を整えようとする手が止まりますが、これくらいであれば、
今の自分にもできそうだと感じました。他にも、新しいジムに通う前に、家に眠
っている運動器具を5分間、先に復活させてみようかな・・・とか

新年度というと、新しいことを始めることに目が向きがちです。
けれど実際には、日々の業務や日常の中には、「やろうと思ってそのままになっ
ていること」が、いくつも残っています。それにもう一度手をつけることも、十
分に意味のあるスタートではないでしょうか。

大きく変えるのではなく、少しだけ整える。
一度にすべてではなく、一つだけ手をつける。
それだけでも、仕事の流れや気持ちの持ち方は、少しずつ変わっていきます。
今年度は、「途中になっていたこと」に、もう一度向き合うところから、始めて
みようと思います。